



# サフラン便り

第41号 21年10月15日発行

発行:佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/saffron/>

## < 第11回 佐賀県小児保健大会 発表報告 >

日時:10月3日(土)13:30~16:30

場所:佐賀大学医学部 看護学科棟 1階

発表内容: 育児に関する意識調査をもとにした母子保健事業の取り組み(小城市健康増進課 島の江かよ子)  
 地域一体化した母子保健医療福祉の連携と支援体制(川副町 保健師 堀 由佳)  
 SGA(Small for gestational age)のフォローアップ(佐賀大学小児科 山口朋奈)  
 小児と薬における問題点とその解決方法(佐賀県薬剤師会女性薬部会 徳淵昭代)  
 佐賀市食育推進基本計画策定の経緯(佐賀市保健福祉部健康づくり課 田崎陽子)  
 特別支援学校における食育について(佐賀県立金立養護学校 山上益充)  
 定時制生徒の健康問題について(鳥栖高校定時制 養護教諭 荒巻順子)  
 中学校における命と性の教育(みやき町立中原中学校 養護教諭 徳安サナエ)  
 10代の性の知識と現状について(西九州短期大学部 講師 吉村浩美)



### 参加者報告: 小児と薬における問題点とその解決方法

女性薬剤師部会 徳淵 昭代

小児にとって急性、慢性にかかわらず服薬は大きな治療手段である。患者様の保護者がそれを正しく使用できるよう支援し、その結果、治癒し健康を取り戻すことこそが薬剤師の職能だと考えている。

そこで一昨年から薬剤師会として参加している子育て応援フェスタでの小児に関する

お薬相談事業の成果を踏まえ、「小児と薬における問題点その解決方法」について発表することにした。方法として、主に小児科の処方せんを受けている薬局を対象に、《小児と薬における問題点と課題解決のための服薬指導》アンケートを行った。項目は

保護者からよく受ける質問、相談事例に対して喜ばれた例、副作用や有害現象に対しての服薬指導例、生活上の相談等について、の4項目である。アンケートの結果を分析し、保護者の課題に対して服薬指導を改善し解決方法を広報することで、小児を持った保護者が適切な服薬や使用法を行い、薬の最大の効果を得ることを目的とした。

(小児保健大会発表要旨集より)



(お礼)

この大会は、佐賀県保健協会主催で「今の佐賀の子どもたち」の現状を考える会で毎年開催されていました。今年度はテーマを決めずに自由発表ということで、母子保健・医療・食育・性教育の4分野で発表がありました。薬剤師会からは、薬局窓口で服薬に関しての問題点を抽出し、その解決方法を子どもに関わる多くの職種の方に正しい薬の服薬方法を広めていただくことを目的として応募いたしました。皆様にアンケートのご協力をいただき発表できましたこと感謝します。ありがとうございました。この発表の内容は近々ホームページに掲載予定しています。(宮地)

### < 九州ブロック研修会報告 >

・ 日時:9月12日(土)16時~18時 場所:熊本県薬剤師会館

・ 講師:長崎国際大学学長 前熊本県知事 潮谷義子先生

・ 演題:「いのち・健康・くらし」

今や地域社会の営みには、「少子高齢の現実」という視点が欠かせません。認知症の増加、老人の一人暮らし、夫婦だけの暮らしは長寿日本の中で、平準世帯単位になるかもしれません。このようななか、皆さま方が心をこめて調剤された薬、或いは新薬の開発はしばしの時間を共有し、社会の現実はどう知性と感性と心をいかしていく必要があるのか共々に考えて参りたいと存じます。(潮谷先生からのメッセージより)

## <佐賀県女性薬剤師会の歴史>

## 会史投稿文より(その3)

元佐賀県薬剤師会副会長宮地信子

故奥平前会長の原稿より設立当時から在任中の22年間の佐賀県女性薬剤師会の状況を振り返ってみたい。県内での第1回の総会は県の婦人会館で開いた。県内各地から予想外の多数の方々が参加して下さって感激しました。そして、今はまた当時の方々の半数の人がすでに故人となられていることも時の流れを感じさせられ感無量である。県内での女性薬と言っても最初の頃は特別のこをしたわけではなく、理事のひとりとして理事会に出席し、末席に座ってただ県薬の活動を知るくらいであった。そうした中で、理事会において女性薬はどう考えるかと意見を求められたり、女性薬部会の報告が行われるようになり、次第に女性薬の意見も取り入れられるようになった。「くすり与健康の週間」の時には薬草で生け花を飾ったり、女性薬のコーナーを作ったりまた医薬分業の主旨を伝えるために『ニャロメ』の漫画で描いて(佐賀大美術部の学生に頼んで)パネルで展示した。これは一般の人にも大変好評であった。

## <子育て応援フェスタ>

日時:10月3日(土) 4日(日)

協力スタッフ:池田知子、酒井淳子、福島あさ子、鶴田恵子、片江富貴子、宮地和子

### 相談内容(抜粋)



・Q1:抗生剤をジュース、アイスで溶かして飲ませても2回目は飲んでくれない(1歳9ヶ月)

A1:ジャムやココアに混ぜたり、氷にして飲ませる(子どもの薬の飲ませ方幼児編 パンフレットを渡す)

・Q2:喘息でシングレア、ムコダイン、アレジオン服用中。続けて飲んで大丈夫か

麦茶やジュースで服用してもよいか(6歳)

A2:喘息は服薬で予防コントロールできます。発作を起こさない為にも服用の継続を勧める。薬の離脱も成長とともに徐々のできるので安心して下さい。薬は種類にもよりますが、飲み合わせがあるので薬剤師に確認して下さい。

・Q3:坐薬がお尻から出てきたときの対応についての質問

A3:坐薬を入れて10分以内で型が残っている時は、新しいのを入れて良い。(ひよこクラブ薬ガイドブックより参照)

・Q4:抗生剤でお腹を壊したことがあった。病院にかかる時に不安がある。(8歳)

A4:副作用が出た時は薬の名前を記録するようにして下さい。また、もし医師に言い忘れたら薬局で必ず伝えて下さい。(おくすりノートの活用方法を紹介)

## <ちょっと一言>

今回、日本を縦断した台風。被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

台風のなか、佐賀から東京往きの飛行機に乗った知人の話です。

早朝に佐賀を発ち、8時過ぎの着陸を待って東京上空を旋回しているうちに燃料切れし、

関西空港に給油のため戻ったそうです。五時間以上、飛行機に閉じ込められ、

羽田で朝食を摂る予定の人には、長い旅だったようです。

「無事なときには心を引き締め、有事の際にはゆとりを持つ」という先人の教えを思い出しました。

私のバックにいつも入っている飴玉も一口羊羹も気持ちのゆとりに貢献しているようです。

(島田)

## 「サフラン便り」を読んでいただける貴女へのお知らせ

この度、女性薬剤師の仲間の輪を広げ、より多くの女性薬剤師の方との交流会を開催することになりました。参加条件は、女性薬剤師であることのみです。勤務者、未就業者を問いません。

11月14日(土)18時より「グランデ葉がくれ荘」です。参加費4000円。お子様連れて気楽に話にきてください。開局、病院、製薬卸、施設の皆さまもちろん未就業の方、情報交換のひと時を楽しみましょう。

参加していただける方は、各支部女性理事もしくは(社)佐賀県薬剤師会事務局高岸までお知らせください。

TEL0952-23-8931 FAX:0952-23-8941 [info@sagayaku.or.jp](mailto:info@sagayaku.or.jp)